

令和5年度佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定推進委員会
議事概要

○日時

令和6年1月30日（火）10:00～12:00

○場所

佐賀市役所4階大会議室

○出席者

【委員】（順不同、◎は会長）

◎田代勝良氏、石井孝嗣氏、池田進氏、真崎渉氏、宮崎一哉氏、原渕修一氏、別頭道明氏、
小林紀氏、古川智章氏、吉田まりか氏、坂井克宏氏、古賀香光氏

【事務局】

<市> 蘭保健福祉部長、坂井福祉総務課長、野田福祉総務課係長

<市社協> 今井事務局長、渡部地域福祉課長 江原地域福祉課係長、鈴木地域福祉課主事

【傍聴者】 なし

○次第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 議事

(1) 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について

- ① 関連事業の進捗状況について
- ② 重点事業の取組について

(2) 第5期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定方針について

- 5 閉会

■会議概要

1 開会

○事務局

・委員の過半数以上の出席により会の成立を報告

2 開会挨拶

蘭保健福祉部長、今井事務局長から挨拶

3 委嘱状交付

原渕修一氏、吉田まりか氏へ委嘱状を交付

4 議事

○事務局

・会議については、佐賀市審議会等の会議に関する規程に基づき会議を公開する。

(1) 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について

①関連事業の進捗について

○事務局

・【資料1】を基に、「第4期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の関連事業の進捗状況を報告

質疑・意見

○委員

・避難行動要支援者の名簿作成に関し、市から自治会への協力依頼があった。単位自治会では避難行動要支援者の名簿作りについて、詳細に意見交換ができた。もっと早く取り組んでいればもっと細かい情報があがってきたと思う。

○事務局

・避難行動要支援者の事業に関しては、要支援者に市から書類を送付し申請を促していたが、同意者がなかなか伸びないということもあり、今年度、自治会の皆様にご協力をお願いしたところである。本事業に関してはまだまだ課題があると認識しており、今後も自治会長や民生委員・児童委員など地域の実情を把握されている方からのご協力をお願いしたい。

○委員

・福祉協力員は班長に依頼している。地域が主体と言われるが、地域は範囲を小さくした方が分かりやすいと思う。地域では各班の班長が一番状況を見ていると思うので、民生委員も同席する班長会などでの情報交換を行うなどのシステム作りがいいのではないかと考える。

・成年後見人の制度について、来年度から任意後見人という制度を広めていきたいと考えて

いる。成年後見人は敷居が高いと感じるが、任意後見人は少しハードルが低く、身近に感じることができ、必要性を感じているという声を聞く。この任意後見人は市社協に相談なく進めていてもいいのか。

○事務局

- ・福祉協力員については、市及び市社協で設置を推進している。福祉協力員は班長や地域の中から選出してもらい、設置を推進している状況である。引き続き地域での見守り体制の充実に努めていきたい。避難行動要支援者の対象者と福祉協力員の見守り対象者が一致していないケースがある場合は、対象者のすり合わせを行われている校区もある。また、福祉協力員や民生委員、自治会長が参加して開催される連絡会議の推進もあわせて行っており、連絡会議の充実も図っていきたい。
- ・任意後見人の選定に関しては、それぞれの判断で進めてもらって構わない。相談に関しては市社協で受けることができるので、必要であれば相談いただき、適切なアドバイスができればと思う。また、任意後見人に関する出前講座など研修の機会を設けることもできると思うので活用していただきたい。

○委員

- ・老人クラブの数は。
- ・単位自治会長からは老人クラブの会員数を増やすよう言われている。老人クラブでいろいろな催しを開催し、会員に喜んでいただくことが、会員数の増加につながると思う。このため、単位老人クラブが行っている催しなど、会員を増やすための取組の実態を調査し、紹介してほしい。また、ボランティアで催しを行っていただける方を紹介してもらいたい。

○事務局

老人クラブの数については、佐賀市内で252組織となっている

- ・老人クラブの取組についていただいたご意見は、担当課に伝えたい。

○委員

- ・保健指導事業について、健診結果に応じて家庭訪問等を行い生活習慣病の予防等を行うとのことだが、実績として記載されている保健指導実施件数だけでは実態が分からない。どういう方が対象なのか示してほしい。
- ・健康ひろげ隊による地域での健康づくり活動について、健康推進員育成講座のことが記載されているが、健康ひろげ隊が行っているラジオ体操やウォーキングなどの地域活動について記載すべきではないか。

○事務局

- ・保健指導事業の実態については担当課に確認する。
- ・委員が言われるとおり、健康ひろげ隊が行っている実際の活動の記載を検討したい。

○委員

- ・地域福祉計画・地域福祉活動計画は高齢や障がい、子育てなど幅広く関係している。このため、担当課がこの会議に出席するか、質問を事前に聴取するなどの対策を講じてほしい。

○委員

- ・安心サポートは成年後見につなぐ前段階での金銭管理などをサポートする事業だと思うが、利用するための条件があり、実際に相談を希望しても、2、3か月待たないといけないというのが現状である。今後、安心サポートの事業を行う上で、人員体制の拡充や利用条件の緩和などが検討できないか。

○事務局

- ・安心サポートについては、今後相談件数が増えていくことを想定し、令和6年4月以降は体制を強化したいと考えている。相談が2、3か月待ちとの話もあったため、なるべく短い期間で対応できるようにしたい。

○委員

- ・ぜひ検討いただいて、サービスが必要な方が利用できるような形で進めてもらいたい。

②重点事業についての取組について

○事務局

【資料2】及び【資料3】を基に、重点事業の取組について説明

質疑・意見

- ・特になし

(2) 第5期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定方針について

○事務局

- ・令和7年度中に次期計画である第5期の計画を策定していく必要がある。この第5期の計画は、再犯防止推進計画と一体的に策定を行うこととしており、まずは令和6年度中に、再犯防止推進に関する方針を市で策定し、その後、第5期の計画に統合していくという方

向性を決定した。このため、来年度からの策定推進委員には、再犯防止推進に関連する団体からの委員への委嘱を想定している。これから第5期の地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて準備を進めていくこととなるが、来年度は2回ほど策定推進委員会の開催を予定しており、1回目の策定委員会は、上半期に開催したいと考えている。

質疑・意見

・特になし

5 閉会

以上